

不正対策テーマに セミナーを開催

JEAS

日本万引防止システム協会（JEAS・稲本義範会長、東京都新宿区）は5月8日、都内で「小売業会計不正検査報告書と監査室長事件簿から対策を考える」と題したセミナーを行った。協会員や関係団体などが参加した。

公認不正検査士（CFE）の米澤勝氏と同・前田伸氏、



セミナー講師を務めた方々。右から稲本会長、米澤氏、前田氏（JEAS提供）

稲本会長の3人が講師を務めた。CFEは不正の防止・発見・抑止の専門家。米
国公認不正検査士協会の認定により与えられる資格で、4分野（会計知識・法律知識・犯罪心理学・調査手法）の試験合格が必須。

セミナーではCFEの解説のほか、米澤・前田両氏と稲本会長が2008年の設立時から不正検査の知識・技能向上を目的に参加している「東京不正検査研究会」の活動内容を説明。毎月テーマを決めて行っている研究内容、関西不正検査研究会など関係団体との交流について報告した。

企業の不正調査報告書をもとに事例を紹介したり、手荷物検査などのセキュリティ機器や情報漏えいを防ぐセキュリティソフトなど不正を防ぐ具体策についても解説した。